



AGS株式会社

東証第一部 証券コード3648

2020年3月期 第2四半期決算説明会資料

2019年11月

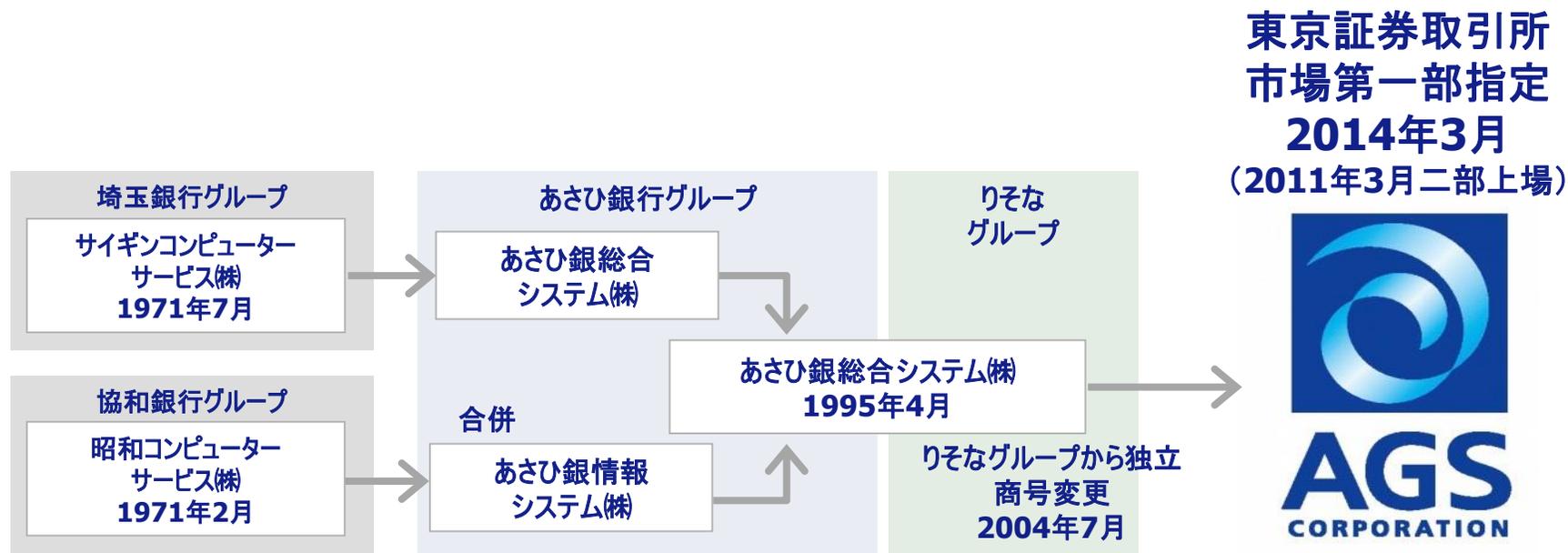
- I. 会社概要
- II. 2020年3月期第2四半期決算概要
- III. 2020年3月期第2四半期実績内容
- IV. 下期取組み
- V. 株式情報

I. 会社概要

1. AGSグループ概要

商号	AGS株式会社	 (本社:AGSビル)  (さくら浦和ビル)
設立	1971年7月	
資本金	1,431百万円	
従業員数	連結 1,012名 (2019年9月末時点)	
本社	埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-3-25	
連結子会社	AGSビジネスコンピューター株式会社 ソフトウェア開発、コンピュータ及びその周辺機器の販売・保守 AGSプロサービス株式会社 コンピュータシステムの運営管理、人材派遣 AGSシステムアドバイザー株式会社 ITコンサルティング、BCMコンサルティング、 情報セキュリティコンサルティング	

2. AGS沿革

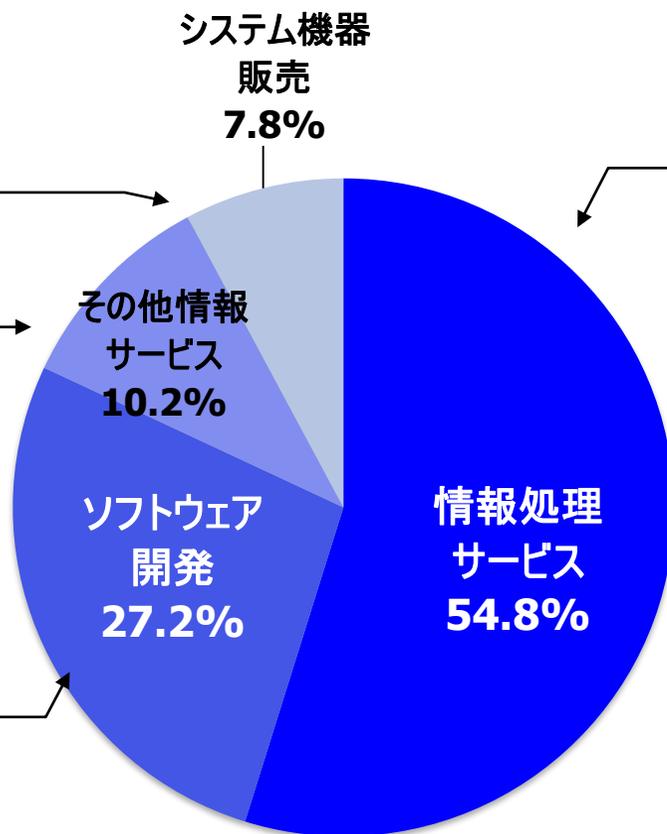


2003年1月	本社内にインターネットデータセンター「さいたまiDC」を開設
2010年2月	浦和ソリューションセンター開設
2011年3月	東京証券取引所市場第二部に上場
2012年3月	インターネットデータセンター「さいたまiDC」新センターを開設
2014年3月	東京証券取引所市場第一部に指定

3. 連結セグメント別売上高構成比

SIビジネス

- システム機器販売
 - ・コンピューター機器、周辺機器の販売
- その他情報サービス
 - ・パッケージ商品販売
 - ・導入支援サービス
 - ・コンピューター機器保守
 - ・情報セキュリティコンサルティング
 - ・内部統制支援サービス等
- ソフトウェア開発
 - ・コンサルティング
 - ・システム設計、構築
 - ・システム保守サポート



【2020年3月期第2四半期】

データセンタービジネス

- 情報処理サービス
 - IDCサービス
 - ・ハウジング、コロケーション、ホスティング（浦和センター及びさいたまセンター）
 - クラウドサービス
 - ・SaaS ・IaaS
 - ・PaaS ・ASP
 - アウトソーシング
 - ・コンピューターのオペレーション請負
 - ・オペレータ派遣、BPOサービス
 - 受託計算
 - ・データ入力 ・計算処理 ・大量印刷
 - ・封入封緘 ・OCR読み取り
 - ・カード発行等

情報処理サービスを中心に総合的なソリューション・サービスをワンストップで展開

4. 連結顧客領域別売上高構成比

サービス領域

データセンタービジネス

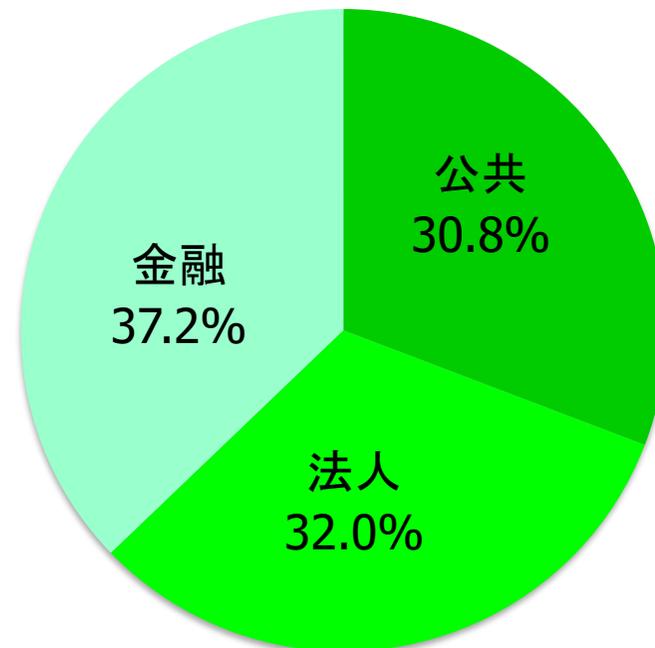
- 先進的、本格的なデータセンター設備と高い運用能力
- 長年の経験、ノウハウ、信頼を基盤とした独自性の高い受託計算サービス



SIビジネス

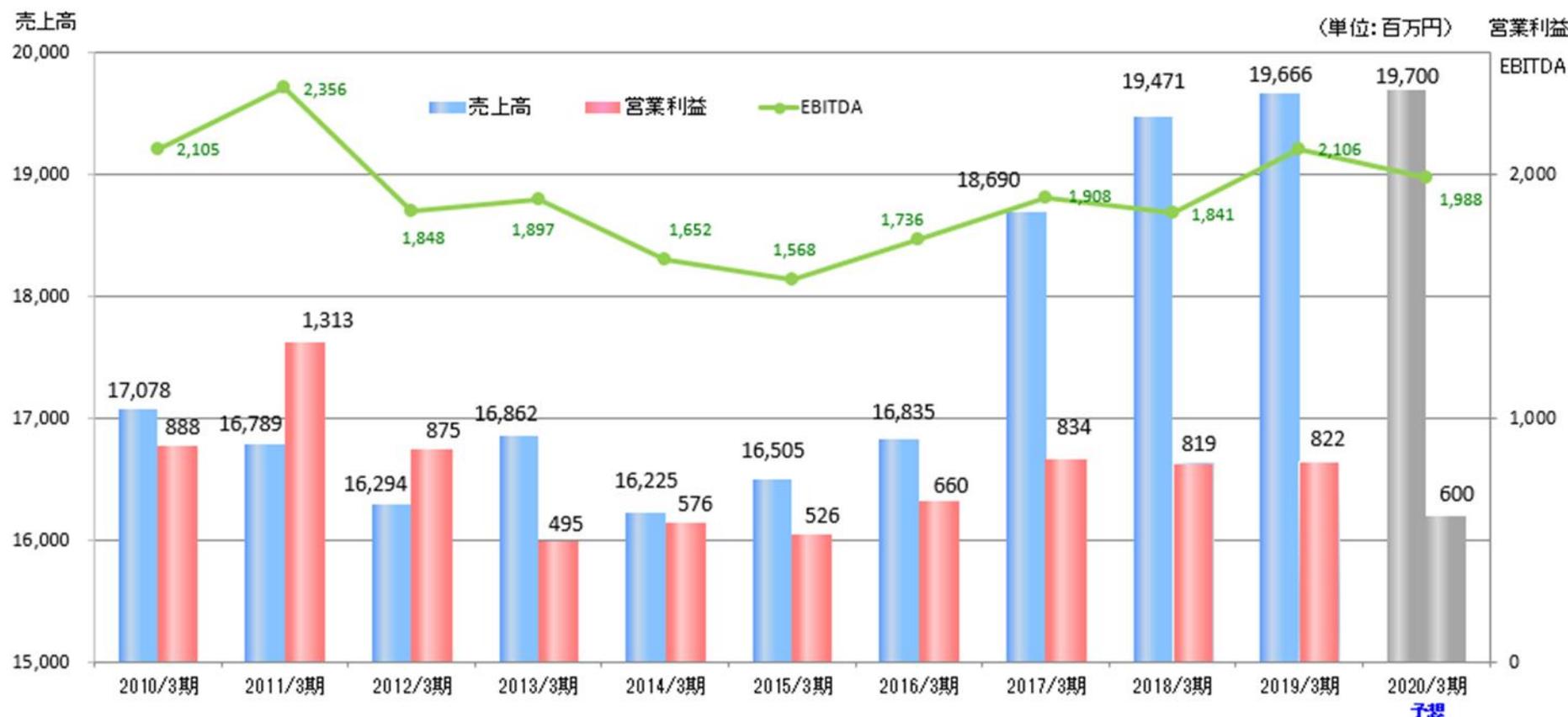
- 金融、国保、共済、自治体等に関わる専門的な業務ノウハウ
- 高品質なソフトウェア開発能力と顧客志向に基づくきめ細やかなサービス

【2020年3月期第2四半期】



市場環境に柔軟に対応できる
バランスのとれた顧客ポートフォリオを構成

5. 業績推移(過去10年)



	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期 予想
売上高	17,078	16,789	16,294	16,862	16,225	16,505	16,835	18,690	19,471	19,666	19,700
1人当たり	18.50	17.94	17.43	18.03	17.08	17.39	18.10	19.97	19.75	19.55	-
営業利益	888	1,313	875	495	576	526	660	834	819	822	600
1人当たり	0.96	1.40	0.94	0.53	0.61	0.55	0.71	0.89	0.83	0.82	-
社員数	923	936	935	935	950	949	930	936	986	1,006	-
EBITDA	2,105	2,356	1,848	1,897	1,652	1,568	1,736	1,908	1,841	2,106	1,988

※「EBITDA」＝「連結営業利益」＋「連結減価償却費」

II. 2020年3月期第2四半期決算概要

1. 2020年3月期第2四半期実績

(単位:百万円)	2019/3期 2Q	2020/3期 2Q			前回予想 5/13発表 (ご参考)
	金額	金額	増減	増減率	金額
売上高	9,160	9,645	485	5.3%	9,300
売上総利益	1,994	2,192	197	9.9%	—
営業利益	292	376	83	28.7%	220
営業利益率	3.2%	3.9%	0.7P	—	2.4%
経常利益	334	408	73	22.1%	240
親会社株主に帰属する 四半期純利益	213	262	49	23.3%	160
1株当たり四半期純利益(円)	11.96	14.75	2.79	—	8.98

- 売上は、情報処理サービス及びシステム機器販売の増加などにより増収
- 利益は、売上高の増加や利益率の向上などにより増益

2. 事業セグメント別収益状況

(単位:百万円)		2019/3期 2Q	2020/3期 2Q		
		金額	金額	増減	増減率
情報処理 サービス	売上高	5,026	5,286	260	5.2%
	セグメント利益	702	773	71	10.1%
ソフトウェア 開発	売上高	2,610	2,620	10	0.4%
	セグメント利益	299	351	51	17.2%
その他情報 サービス	売上高	965	985	20	2.1%
	セグメント利益	71	113	41	58.6%
システム 機器販売	売上高	559	753	194	34.8%
	セグメント利益	▲14	25	40	—

- 情報処理サービス 自治体向けIDC運用サービス案件の増加などにより増収増益
- ソフトウェア開発 金融機関及び自治体向けソフトウェア開発案件の増加などにより増収増益
- その他情報サービス 金融機関向けパッケージソフト販売及び
一般法人向け機器導入支援サービス案件の増加などにより増収増益
- システム機器販売 消費税増税前の需要拡大に伴い、一般法人向け機器販売が
増加したことなどにより増収増益

3. 貸借対照表

(単位:百万円)

		2019/3期末	2020/3期 2Q		主要増減要因
		金額	金額	増減	
	流動資産	7,515	7,391	▲123	受取手形及び売掛金の減少
	固定資産	9,488	8,929	▲559	
資産合計		17,004	16,321	▲682	
	流動負債	3,319	2,756	▲562	買掛金の減少
	固定負債	1,868	1,657	▲210	リース債務減少
負債合計		5,187	4,414	▲773	
	株主資本	11,316	11,487	171	
純資産合計		11,816	11,906	90	剰余金の配当による減少の一方 親会社株主に帰属する四半期純利益 計上により増加
負債純資産合計		17,004	16,321	▲682	
自己資本比率		69.5%	73.0%	3.5P	

4. キャッシュ・フロー表

(単位:百万円)

	2019/3期 2Q	2020/3期 2Q	
	金額	金額	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	790	635	▲155
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲560	▲168	391
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲349	▲338	10
現金及び現金同等物の増減額	▲119	127	246
現金および現金同等物の四半期末残高	3,240	3,744	503

5. 2020年3月期 通期業績予想

(単位:百万円)	2019/3期 実績	2020/3期 予想		
	金額	金額	増減	増減率
売上高	19,666	19,700	33	0.2%
営業利益	822	600	▲222	▲27.0%
営業利益率	4.2%	3.0%	▲1.1P	—
経常利益	863	610	▲253	▲29.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	544	410	▲134	▲24.7%
一株当たり当期純利益(円)	30.57	23.01	▲7.56	—
一株当たり配当金(円)	11.00	11.00	—	—

- その他情報サービスが減少するものの、一般法人及び自治体向けのデータセンタービジネスやクラウドサービスなど、情報処理サービス案件の増加などにより増収見込み
- 利益面は、今後の事業拡大を見据えた戦略投資(次期自治体向けクラウド基盤の更改、一般法人向け汎用機の性能増強や導入など)を計画に織り込み、減益見込み

6. 事業セグメント別業績予想

		2019/3期 実績		2020/3期 予想	
		金額	金額	増減	増減率
情報処理サービス	売上高	10,158	10,500	341	3.4%
	セグメント利益	1,452	1,360	▲92	▲6.4%
ソフトウェア開発	売上高	5,491	5,500	8	0.2%
	セグメント利益	673	700	26	4.0%
その他情報サービス	売上高	2,418	1,900	▲518	▲21.4%
	セグメント利益	214	130	▲84	▲39.5%
システム機器販売	売上高	1,598	1,800	201	12.6%
	セグメント利益	10	20	9	90.7%

- 情報処理サービス 一般法人及び自治体向けのデータセンタービジネスやクラウドサービスなど増収の見込み
一方、戦略投資などにより減益の見込み
- ソフトウェア開発 大型案件が収束したものの、一般法人向け案件の受注推進などにより売上高は前年並み
一方、利益率の改善などにより増益の見込み
- その他情報サービス 公共団体向けの機器保守の契約終了などにより減収減益の見込み
- システム機器販売 Windows7対応等の機器更改などにより増収増益の見込み

III. 2020年3月期第2四半期実績内容

1. 2020年3月期第2四半期連結業績予想と実績の差異

- ✓ 売上高については、概ね前回予想の通り。
- ✓ 一方、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益については、ソフトウェア開発及びその他情報サービスの利益率向上などにより、前回予想を上回る結果。
- ✓ 消費増税前の需要拡大やWindow7の保守終了等に伴う機器入れ替え・設定対応など、前倒し案件に係る増収増益も含んでおり、通期予想は、現状据え置き。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	9,300	220	240	160	8.98
実績値 (B)	9,645	376	408	262	14.75
増減額 (B-A)	345	156	168	102	—
増減率 (%)	3.7	70.9	70.3	64.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	9,160	292	334	213	11.96

2. 新サービス提供開始

➤ セキュリティ製品「AppGuard®」(2019年5月)

従来のセキュリティ製品とは異なり、ウイルスを検知して駆除するのではなく、PCに対する不正な攻撃からPCを防御するセキュリティ製品。マルウェアの検知に依存しない仕組みであるため、未知の攻撃にも対応可能。

➤ 「イメージバックアップサービス」(2019年6月)

当社ハウジングサービス及びクラウドサービスで稼働するお客様サーバのシステム全体をイメージ化してバックアップするサービス。サーバ障害時は、専用ポータルサイトから取得したバックアップイメージを、当社を介さずそのままリストアでき、迅速なサーバ復旧が可能。

➤ 「IT資産簡易アセスメント」(2019年7月)

お客様の社内に設置されているIT機器設置状況について、安全性を診断し、内在する課題の報告から問題提起まで、無償で行うサービス。IT機器設置状況について、立地、建物構造・IT機器設置場所、避雷設備、電源設備、空調設備の5つの項目に対し、専門知識を有する当社社員が、調査を実施。

IV. 下期取組み

クラウドソリューションの拡充

企業システム向けIaaS「プライベートクラウドQuickⅢ」やAWS (Amazon Web Services) を主軸としたクラウドサービスの拡充

データセンタービジネスの強化・拡大

金融機関の集中業務BPO化への取組強化
データセンター増床

AI等新技術への取組み強化

2019年4月「デジタルイノベーション推進部」を組成、新技術への取組み強化
セキュリティソリューション、RPA導入支援サービス、新技術(モバイルアプリ・AI等)を活用したサービス提供等によるSIビジネスの推進

コーポレートガバナンスの体制強化

法務および契約リスクの管理ルール見直しによる法令および契約違反の未然防止体制の強化と運用ルールの定着

V. 株式情報

1. 株式状況

過去1年間の株価推移



時価総額	13,688百万
配当利回り	1.43%
P E R	33.33倍
P B R	1.15倍

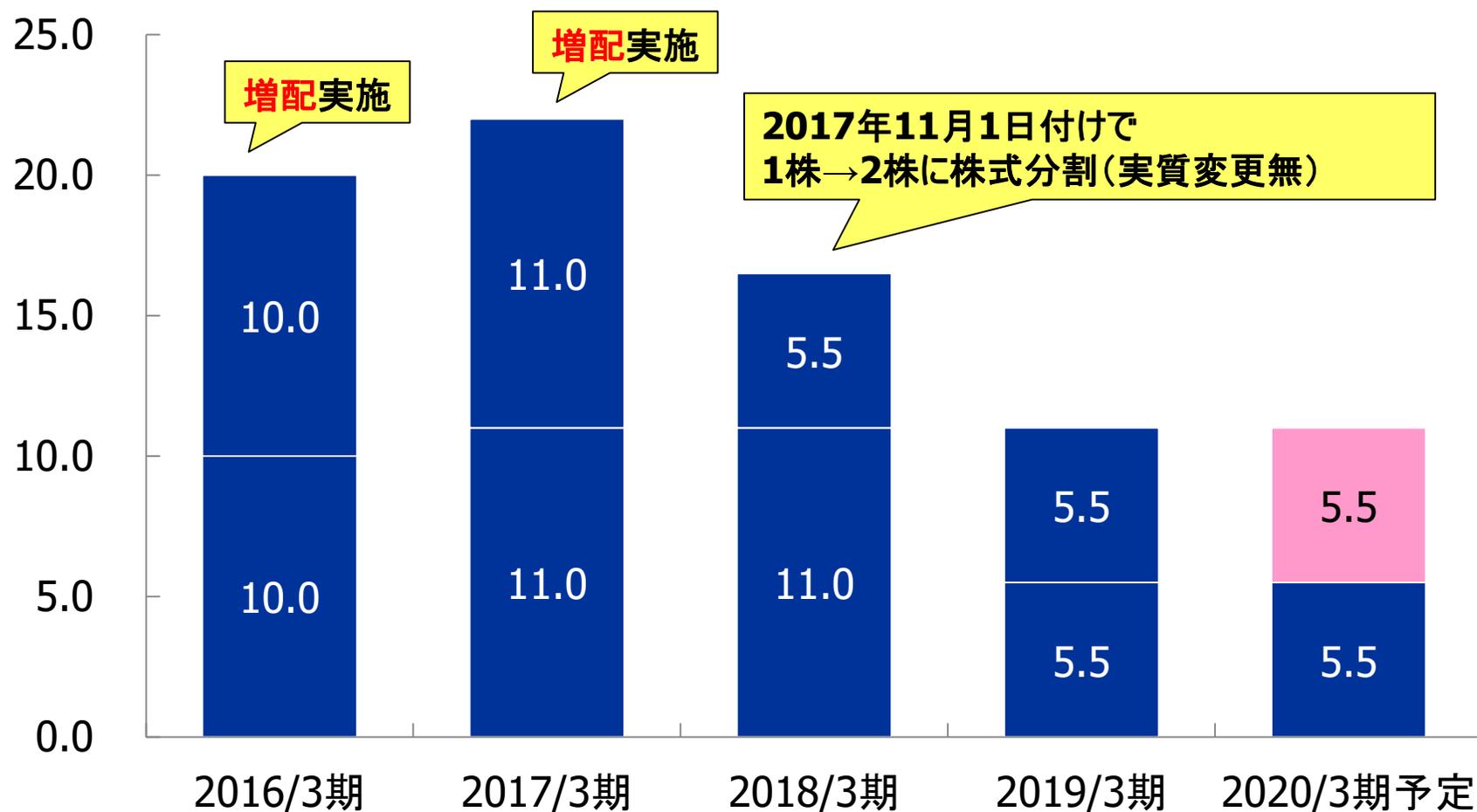
(2019年11月1日現在)

株主数推移



2. 配当政策

- 株主の皆様への期待に応える利益還元を実現
- 安定した収益に基づいた継続的な配当



Assuring **G**rowth and **S**uccess with IT

『ITで、確かな成長と成功を』



本資料は、この資料に記載しております将来に関する事項は、業界の動向、顧客の状況、その他本資料作成時点で当社が入手可能な情報による判断及び仮定により作成しております。従いまして、これらに内在する不確定要因や内外の状況変化等により、実際の予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。